



こんにちは佐高です

佐呂間高校HPでもご覧ください！

URL:<http://www.saroma.hokkaido-c.ed.jp>

発見と理解は、実験つまり自然との対話から得られること

理科担当の内田です。私の基本的な授業スタイルは「科学上のもっとも基本的一般的な概念・法則を教えて、科学とはどのようなものかということを経験させることを目的とした授業理論」に基づいて実施しています。具体的な手法としては、「一つの概念法則に関して、問題 ⇒ 予想 ⇒ 討論 ⇒ 実験 を繰り返すことで、その概念・法則を発見し、理解する。」という積み重ねを行っています。例えば、「宇宙への道」という授業では、地球・月の大きさからその距離、太陽系の惑星の大きさとその距離を実感する授業で、宇宙の壮大さを感じることができます。

ー 以下は生徒の感想から ー

「宇宙は広いということは知っていましたが、自分が想像していたよりもものすごく広くて様々な惑星がありました。30億分の1の大きさだったけど外に出て実際に距離をとってみてすごくわかりやすかったし、意外と遠いなーと思いました。」（3年生）

「何で他の惑星に住めないんだろうと思っていたけれど、太陽と近すぎたり遠すぎたりして環境が良くないことを知り、地球ってすごいなと思いました。」（3年生）



◇5mmの地球。海王星までは1.5km
1/30億太陽系を体感した…7月・3年生



◇グラウンドで3種類の蟻を採取した…8月・1年生



◇界面活性剤。巨大なシャボン玉づくり…9月・3年生

ー 遠隔システムを用いて ー 生徒会交流

9月15日（火）放課後、胆振管内の厚真高校との生徒会交流を行いました。遠隔システムを用いての、厚真高校との交流は、昨年を引き続き2回目です。両校の生徒会執行部が、コロナ禍にあつての学校生活の変化や、それでも自分たちで少しでも豊かな学校生活にしようと企画していること等を発表し合いました。離れた地域の高校生と、容易に交流できるのも、遠隔システム（双方向の画像音声の通信技術）の利点です。この日、厚真高校の生徒との対話を通して、佐呂間高校の生徒たちは、改めて、自分たちは日頃考えている以上に、
“自分たちのまち佐呂間”
をふるさととして大切に
思っていることを確信した
かのような様子でした。



カメラ・モニタを通して笑顔で交流する佐呂間高校生徒会役員

次期生徒会役員改選

9月18日(金)、次期生徒会会長を含む役員選挙が行われました。新型コロナウイルス対応のためマスクをしての立会演説会となりましたが、立候補者とその推薦者は所信表明や生徒会活動への意欲や責任についてスピーチをしました。

また、佐呂間高校の主権者教育の一環として、投票について考えてもらう機会になればと、係の松重先生(公民科)が企画し、佐呂間町選挙管理委員会(総務課)のご協力で本物の投票箱をお借りしての投票が行われました。即日開票、全員が信任されました。



・推薦者の西岡さんと
生徒会長候補の石川さん

・投票の様子



進路壮行式

佐呂間高校には、高い進路決定・進路実現の実績があります。その取組の一つが「進路壮行式」です。

9月24日(木)3学年のHR教室。はじめに渡邊校長の「進路実現は、クラス皆で互いに支え合って頑張ってもらいたい。最後の最後まで応援する」という激励がありました。また、学年団の先生方の応援スピーチもありました。

その後、3年生の生徒はひとり一人が、自分の進路希望やその夢の実現のための意気込みなどを力強くスピーチしました。緊張しながらも、しっかりと級友たちを見て話し終えた生徒たちは、これから努力する自分自身の姿勢に大きな手応えを感じているようでした。



－ 10月の予定 －

1	(木)	後期始業式 生徒会役員認証式 後期HR役員選出
2	(金)	性教育講話(2学年)
3	(土)	強歩大会
5	(月)	振替(10/3の強歩大会)
6	(火)	1学年宿泊研修結団式 生徒会常任委員会
7	(水)	1学年宿泊研修(～10/9(金)まで)
8	(木)	2学年インターンシップ(～10/9(金)まで)
10	(土)	ベネッセ駿台記述模試 小論文トレーニング テニス市民ダブルス
13	(火)	交通安全の日
14	(水)	芸術鑑賞 お仕事まるわかり体験
15	(木)	秋季総合防災訓練
16	(金)	秋季進学ガイダンス
17	(土)	全統記述模試
19	(月)	性教育講話(3学年)
21	(水)	高文連放送コンテスト新人大会
22	(木)	学校見学説明会
24	(土)	全統共通テスト模試
25	(日)	職員検診
27	(火)	生徒会常任委員会
31	(土)	ベネッセ駿台共通テスト ベネッセ高2高1学力テスト 道看模試

